



## 住みよい地域をボランティアで

### 腰越地区社会福祉協議会（鎌倉市）

腰越地区は、鎌倉市南西部に位置し、江ノ島にほど近い東西に広がった地域です。ワカメ漁とシラス漁が盛んな漁港の町、区画整理された閑静な住宅地、農道の跡が残る古くからの住宅地と、いくつかの「顔」をもつ地域です。

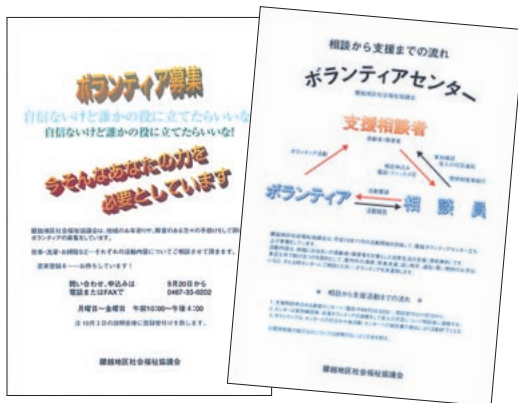
総人口は二万六千四十二人、六十五歳以上人口六千八百四十人で、高齢化率は、鎌倉市全体よりも三・七ポイント高い二六・三％になっています（本年九月末日現在）。

腰越地区社協（以下、地区社協）では、高齢者等配食事業などに取組んできましたが、昨年十一月から「腰越ボランティアセンター」（以下、センター）を開設し、登録ボランティア五十三名が、地区に住む障害者や高齢者の日常生活に必要な支援を行っています。

事業を開始してから、本年九月までの相談・活動件数は、八十件余りになっています。自治会の回覧や各戸へのチラシを配布するなどして、徐々に利用者が増えてきている状況です。

### ボランティアセンターを始めたきっかけ

「病院に行きたいが行けない」「話し相手がいない」「庭木の手入れができない」「ごみを収集日に出せない」。こんな地域住民からの「ない、ない」という声を、以前



手作りでチラシを作成してセンターの紹介やボランティアを募っています

から聞いていた、地区社協会長で民生委員児童委員でもある山崎實さんが、その声に地区社協が応えなければと考えていたところ、鎌倉市社協から「地区ボランティアセンター活動促進助成金」の話があり、センター立ち上げに向けた

検討を本格的に開始しました。

### 利用者のニーズ把握は簡単ではない

現在、センターのコーディネーター役を務めている小川和治さんを中心に、地区で活躍するボランティアグループや民生委員児童委員、自治会等の方々が一同に会し、数回の会合を行いました。そして、通院や買い物のほか、日常家事等の比較的軽度な援助を、センターが担っていくことが決まりました。

活動を始めて驚いたのは、介護保険を利用していない高齢者が多く、ボランティアの目から見ても、公的サービスを利用することが望ましい人が利用しないままになっていたことでした。申請書を取り寄せ、代筆し届け出すこともしばしば。寄せられるニーズの裏に様々な家庭状況、近隣の目や経済的な理由からサービス利用を控える状況が見えてきました。

センター開設からちょうど一年。「この土地に住んで良かった」と言える町にしよう」を合言葉に、意欲的に活動を続けています。

#### （地域活動支援課）

※本年度の県社会福祉大会で、優良地区社協として表彰されました。

連絡先 ☎0467-3310710  
江ノ島電鉄「腰越駅」腰越行政センター内

### 一社会福祉施設の設計管理一

株式会社 安江設計研究所  
YASUE & ASSOCIATES' Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808

TEL03(3449)1771代/FAX03(3449)1772

E-mail: yasue-a@nifty.com



特養ホーム  
（厚木市）

新築・増築・改修等お気軽にご相談ください